

見える安心、つながる現場 ～ライブ映像で迅速・的確な現場活動につなげます～

1 目的

市消防本部では、119番通報時における現場状況の把握精度を高め、より迅速かつ的確な出動判断及び救命支援を行うため、映像通報システムを導入します。

音声のみでは把握が難しい傷病者の状態や周囲の危険状況、火災の規模等を、スマートフォンからの映像で確認することにより、指令員による適切な口頭指導や初動対応の強化を図ります。



2 概要

映像通報とは、119番通報を受理した後、指令員の案内により通報者のスマートフォンを使用して、火災や救急等の現場の映像情報を通信指令課と共有する仕組みです。

(1) 地理不案内な通報

周囲の映像を共有できるため、現場特定に要する時間を短縮し、迅速な出動につながります。

(2) 救急通報

傷病者の状態を映像で確認できるため、指令員による応急手当の指示精度の向上につながります。

(3) 火災通報

火災の規模や延焼状況を把握できるため、初期消火の可否や初動対応の適切な判断につながります。

3 予算額

205千円 映像通信システム年間利用料

4 今後の事業展開

令和8年度は1回線で、本システムの活用状況を分析し、映像通報による効果（心肺蘇生実施率の向上等）を検証し、導入の拡大を検討します。